

2023年3月18日(土)ー5月21日(日)

開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)
休館日 月曜日(祝休日と重なる場合は翌平日)

※展示替えのため3月13日(月)～17日(金)、5月22日(月)～26日(金)は休館いたします。
※ご来館の前にホームページ等で最新情報をご確認ください。

台東区立一葉記念館 企画展

樋口一葉と 和歌

— かなの美 —

入館料 一般300円(200円) 小中高生100円(50円) * ()は20名以上の団体料金

※毎週土曜日は台東区在住・在学の小・中学生とその引率者の入館料が無料です。

※障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳、特定疾患医療受給者証を

お持ちの方とその介護者の方は無料です。

主催 公益財団法人 台東区芸術文化財団

台東区立一葉記念館

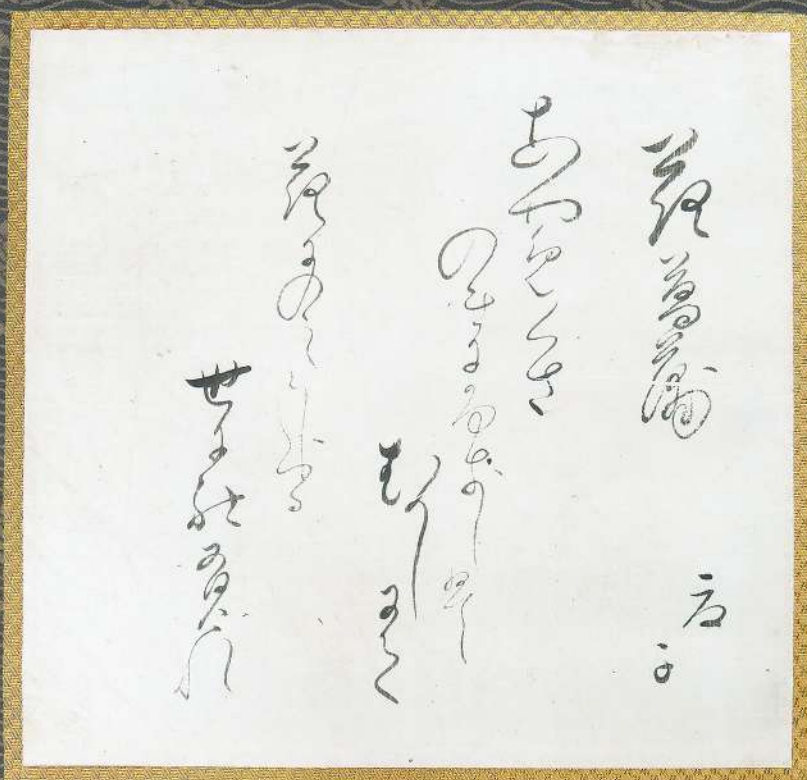
〒110-0012 東京都台東区電泉3-18-4

TEL(03) 5873-0004

<https://www.taitocity.net/zaidan/ichiyo/>



台東区立一葉記念館



樋口一葉筆
和歌色紙「花菖蒲」

企画展

樋口一葉と

和歌

— かなの美 —

明治の女流作家樋口一葉（本名：奈津 一八七二

— 一八九六）は、向学心旺盛な子供でしたが、母の

反対を受け進学を断念しました。しかし、父のす

すめにより、十四歳で中嶋歌子（なかじまうたこ）が主宰する歌塾

萩の舎へ入門し、和歌、古典、書を学びました。

和歌を詠むときには「夏子」と記し、萩の舎で学

んだ流麗な千蔭流（ちかげりゅう）で約四千首もの和歌を書き残

しました。短冊をはじめ色紙や日記、原稿用紙な

どさまざまなものに書かれた和歌。一葉にとつ

て和歌を詠むことは日常であり、心を表すもの

だったといえるでしょう。

本展では、当館所蔵の一葉自筆の和歌資料を

中心に、萩の舎で交流のあった人びとや、江戸中

期から後期に活躍した千蔭流の祖加藤千蔭（かとうちかげ）

七三五—一八〇八）の作品などをご紹介します。

流れるような連綿（れんめん）や、漢字との調和、あざやかな

彩の料紙や表具など、和歌を通して、美しいかな

の世界をお楽しみください。



A 鍋島栄子筆
和歌短冊「しきり…」



B 三宅花圃筆
和歌短冊「ふく風も…」



C 田中みの子筆
和歌短冊「もの、名しゞみ」



D 伊東夏子筆
和歌短冊「月前梅」



E 中嶋歌子筆
和歌懷紙「雪消山色静」



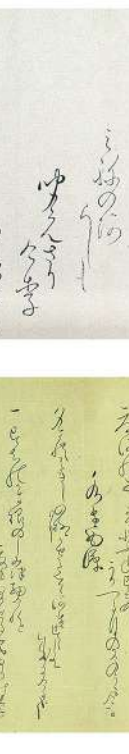
F 樋口一葉筆
選歌集「みやぎ野」



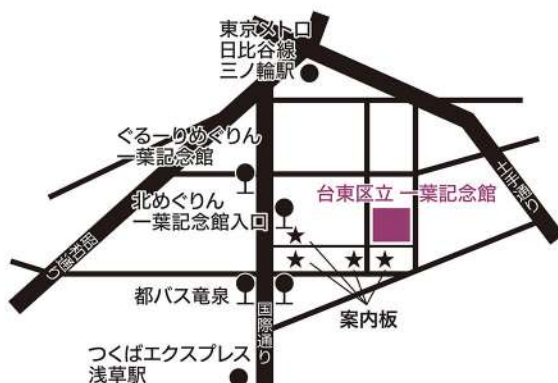
G 長谷川貞忠・渡辺広輝筆
「加藤千蔭像」(パネル展示)



A&F 「花菫」
台東区立一葉記念館所蔵
東京国立博物館所蔵
Image: T.N.M Image Archives



台東区立一葉記念館



アクセス

- 地下鉄: 日比谷線「三ノ輪」駅 徒歩10分
- 都バス(都08系統): 日暮里駅(東口)⇄錦糸町駅(北口)
(※いずれも「竜泉」下車) 徒歩3分
- 北めぐりん: 「一葉記念館入口」下車 徒歩2分
- ぐるーりめぐりん: 「一葉記念館」下車 徒歩5分

*駐車場はありません。

〒110-0012 東京都台東区竜泉3-18-4 Tel 03-3873-0004
*マスクの着用、検温など感染症対策にご協力をお願いします
*ご来館の前にホームページをご確認ください

<https://www.taitocity.net/zaidan/ichiyo/>



イベント

ワークショップ

「一葉の和歌を鉛筆で書いてみよう!」

3月25日(土)9:30~15:30随時(事前申し込み不要、参加費無料)